

日本特殊教育学会 第59回大会 (2021 つくば大会)

『ニューノーマル時代の Special Education へ ～すべての学び手を育み、社会につなぐために～』

大会通信

ご挨拶

日本特殊教育学会第59回大会 準備委員会
委員長 竹田 一則 (筑波大学)

数百年に一度の大きな困難に直面した時代。だが、時代は変わっても、あるいは新しい日常が始まって、多様性を尊重し、ハンディキャップのあるなしにかかわらず、すべての学び手の社会参加を目指すこの分野の役割はますます重要となる。

本大会では、新型コロナウイルス感染症の克服を祈念し、これからの新しい時代の Special Education へ続く第一歩としたい。

準備委員会事務局長 岡崎 慎治 (筑波大学)
企画・プログラム委員長 佐々木 銀河 (筑波大学)

本大会は、新型コロナウイルス感染症の完全終息が見込めない中、福岡国際会議場を会場とした対面実施から Web 開催となった第58回大会に引き続き、対面実施を断念せざるを得ないと判断しました。

特殊教育学会大会は、従来から、会員を中心とした参加者が自身の研究を発表し、関係者と議論を交わす場としての役割を担ってきただけに、その主な場である対面での自主シンポジウムやポスター発表、口頭発表を行えない選択肢をとることは、大会準備委員会としても断腸の思いです。

ですが、大会テーマとして設定された「ニューノーマル時代の Special Education」に向けて、対面実施による感染症拡大のリスクを避けつつも、参加者の交流をできるだけ確保しながら、アクセシビリティ、さらにはダイバーシティとの両立をはかるために、種々の試みを行いたいと考えています。オンデマンドのみならず、ライブ配信によるリアルなディスカッション等を実施できるようにし、対面に依らない発表者と参加者との交流機会を設けることはその代表的な試みです。また、初学者向けには30分程度のミニレクチャーとして多様な教育講演のオンデマンド配信を行うことで、時間と場所にかかわらず学べる機会を創ります。そして、将来の学会発展を担う学生に対する研究奨励の一環として、すべての大会参加者が選考に関与できる「日本特殊教育学会第59回大会フューチャー・リサーチアワード」を新たに実施いたします。

一方で、国内における特別支援教育に係る研究のリーディングコミュニティとしてのアクセシビリティの確保にあたっては、上記の字幕付与等の情報保障のスタンダードを確立する上では、会員や参加者の皆様にもご協力いただきたいと考えております。具体的には、本大会のすべてのオンデマンド動画や音声データには字幕を付与することで音声・文字情報を多様な参加者が取得できるようにします。この点についても、どうぞご了承をいただきたく思います。

大会としては対面実施を見合わせるものの、当初の開催予定期間にはつくば国際会議場を運営側のスタジオベースとして確保し、ライブ配信・オンデマンド両面で会員、参加者の皆様が支障なく学会大会への参加をいただけるよう尽力したいと考えています。本学会大会におけるオンライン開催ともなう新たな試みは、今後の本学会の「ニューノーマル」に向けたものとして積極的な実施に尽力したいと考えております。また、野呂文行理事長の考えから、学術大会の準備に当たり、外部業者等への運営委託の比率を高めて、準備委員会の負担軽減の試みも行っております。学術大会におけるオンライン開催ならびに外部業者等への運営委託などの新しい試みの中で、発表者、参加者の皆様よりお預かりする参加費、発表費を有効に使わせていただくことにより、今後の本学会の発展に努めたいと考えております。ぜひ、参加されるすべての皆様に、「ニューノーマル時代の Special Education」への積極的な参加をお願いしたいと思います。

第 59 回大会における新たな試み

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学会員の皆様においても新しい生活への適応が求められているところと思います。本大会でもニューノーマルな大会を目指して、下記の新たな試みを行う予定です。詳細は「参加申し込み・発表申し込み要項」をご確認ください。

(1) オンライン開催でのアクセスの工夫

本学会では障害のある発表者及び参加者におけるアクセシビリティならびにダイバーシティの観点から障害の有無にかかわらずアクセスしやすい企画を重視しております。大会参加の臨場感と参加者のアクセシビリティ、ユーザビリティを最大限、満たせるような実施方法として、大会当日におけるライブ配信の企画とオンデマンドによる配信を組み合わせる予定です。自主シンポジウム・研究発表では事前動画の提出が必要となりますが、何卒ご了解いただければ幸いです。第 58 回大会にあった「誌上発表のみ」の形式はありませんので、ご注意ください。

●自主シンポジウム:オンデマンド(抄録および事前動画提出)+ライブ配信(希望企画のみ)

自主シンポジウムでは、下記の(A)(B)2つのパターンから発表申し込み時にいずれかを選択いただけます

- (A) オンデマンドのみ:抄録に加えて、ディスカッションを含む企画内容全体を含む 60 分程度の動画ファイル(mp4 形式)を作成し、登録期間内に事前提出する。提出された動画は大会 WEB 開催システムにおいて配信する。
- (B) オンデマンド+ライブ配信:抄録に加えて、企画趣旨、話題提供を含む 30 分~60 分程度の動画を作成し登録期間内に事前提出する。提出された動画は大会 WEB 開催システムにおいて配信する。また、大会期間中(9/19, 20)にディスカッションを中心とする 45 分程度のライブ配信を Zoom ウェビナーにて実施する。

●研究発表:オンデマンド(抄録および事前動画提出)+大会期間中の質疑応答

本大会は WEB 開催となるため、研究発表はすべて口頭発表として一括して取り扱われます。すべての研究発表は下記の1)および2)の要件を満たす必要があります。

- 1) 抄録に加えて、研究発表の内容を示す PDF あるいは PowerPoint ファイル(20 枚までのスライド)および、その説明音声を含めた 3~10 分程度の動画ファイル(mp4 形式)を作成し、登録期間内に事前提出する。提出されたファイルは大会 WEB 開催システムにおいて配信する。
- 2) 大会期間中(9/19, 20)に Zoom ミーティングによる 30 分程度のライブディスカッションあるいは大会 WEB 開催システムのチャット機能により参加者との質疑応答を行う。

(2) 教育講演(practical mini lecture)の開催

各分野において最先端の取り組みをされている講師をお招きして、初学者向けに 30 分程度の教育講演を 10~15 企画ほど予定しております。教育講演については、オンデマンド配信により一定の期間、ご覧いただくことができるように調整しておりますので、他のライブ配信企画との重複で悩まれている方にも参加しやすいように検討しております。

(3) 発表者側でアクセシビリティ対応(動画への字幕付与)を行う際の研究発表費・自主シンポジウム企画費の減額

発表者におけるアクセシビリティへの意識と技術の向上に資することを目的に、発表申し込み時に発表者側で動画への字幕付与を行うことを申告される場合には研究発表費は 2,000 円、自主シンポジウム企画費は 5,000 円減額します。発表者側で字幕付与を行わずに動画提出も可能ですが、差額分を大会側での字幕付与作業経費等の一部に充当します。

(4) 研究発表における大会参加者が選ぶ「第 59 回大会フューチャーリサーチアワード」の実施

将来の学会発展を担う学生の研究奨励を目的として、「日本特殊教育学会第 59 回大会フューチャーリサーチアワード」を新たに実施します。後述する発表種別において「学術研究」で申し込まれた大学院生を対象に優秀な発表を表章します。審査にあたっては、すべての大会参加者が選考対象発表にコメントをすることができます。大会参加者からのコメントや発表資料を踏まえて、選考委員が優秀発表を数件、選考します。また、参加者からのコメントを発表者自身が確認できるようにし、研究のさらなる発展につなげられるよう検討しています。ぜひ、発表者または参加者として積極的に参画していただければ幸いです。

(5) オンラインでも参加者同士が自由に交流・雑談できる「交流ラウンジ」の開設

オンラインで実施する場合には対面と異なり、交流や雑談が難しい場合があります。そのため、大会期間中に、バーチャル会議システムを利用して、参加者同士が自由に交流・雑談できる「交流ラウンジ」を常時開放する予定です。交流ラウンジに参加している人同士が自由に話し合ったり、偶発的な交流をすることができる場を設けられればと考えております。

※企画段階につき、変更する可能性もあります。

大会日程(予定)

9月上旬～ 9月18日(土)	オンデマンド動画の配信開始(この期間に随時アップ予定) (学会企画, 国際ミニレクチャー, 教育講演, 自主シンポジウム・研究発表の事前提出動画など)
9月19日(日)	ライブ配信 (記念講演, 学会企画, 自主シンポジウム, 研究発表)
9月20日(月・祝)	ライブ配信 (学会企画, 自主シンポジウム, 研究発表, 会員のつどい)
10月20日(水)	オンデマンド動画の配信終了

※企画段階につき、変更する可能性もあります。

大会の企画内容

(題目・企画者・講演者等については、詳細が決定次第、大会ホームページに掲載する予定です)

1. 企画シンポジウム等

(1) 学会企画シンポジウム・ワークショップ等

(2) 準備委員会企画(記念講演, 国際ミニレクチャー, 教育講演)

記念講演: 山口 香 氏(筑波大学体育系教授, 柔道オリンピックメダリスト)

「一人ひとりが輝ける社会を目指して」

国際ミニレクチャー

教育講演: 企画中(10～15 程度のオンデマンドレクチャーを用意する予定)

2. 自主シンポジウム

3. 研究発表

4. 会員のつどい(前年度受賞者への授与式を含む)

お問い合わせ先

■第59回大会準備委員会

筑波大学 人間系

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1

■参加申し込み・発表申し込み・原稿投稿に関するお問い合わせ

日本特殊教育学会第59回大会 運営事務局

株式会社プロアクティブ内

〒650-0034 神戸市中央区京町83番地 三宮センチュリービル3階

TEL:078-954-5160 FAX:078-332-2506 (月～金 9:30-18:00, 土日祝休業)

E-mail:jase59@pac.ne.jp

第59回大会ホームページ
<https://www.jase.jp/taikai59/>

大会までのスケジュール

期 日	内 容
2021年4月上旬(予定)	研究発表・自主シンポジウム・大会参加申し込み開始 研究発表費・自主シンポジウム企画費・大会参加費など払込開始 研究発表・自主シンポジウム原稿投稿開始
2021年5月31日(月)18:00 ※締切日時を厳守してください。これ以降の申し込みは一切受け付けません。	研究発表・自主シンポジウム・大会参加申し込み締切 研究発表・自主シンポジウム原稿投稿締切
2021年5月31日(月) ※締切期日を厳守してください。	研究発表費・自主シンポジウム企画費・大会参加費など払込締切 大会参加のみの方の「事前」申し込み締切
2021年7月初旬(予定)	(抄録原稿の倫理審査結果, 発表可否の通知)
2021年7月下旬～7月末(予定)	(大会側に字幕付与依頼をする発表における事前提出動画の登録期間)
2021年7月下旬～8月上旬(予定)	(発表者側で字幕付与する発表における事前提出動画の登録期間)
2021年8月中旬(予定)	大会ホームページにてプログラム発表
2021年8月下旬(予定)	プログラム発送 大会参加のみの方の「後期」申し込み締切

※今年度は5月上旬に発表者・登壇者向けの説明会をオンラインにて実施する予定です。詳細は WEB サイトで案内いたします。

参加申し込み・発表申し込み要項

大会参加の事前申し込み

① 申し込み方法

- 大会ホームページ(<https://www.jase.jp/taikai59/>)より申し込みを行ってください。登録後に『参加受付番号(数字4桁)』が付与されます。
- 事前申し込みの締切は、**2021年5月31日(月)18:00(時間厳守)**です。

② 諸費用の納入

- 2021年5月31日(月)**までに納入してください。期日を過ぎた場合には、事前の参加申し込みはキャンセルとなりますのでご注意ください。諸事情により期日を過ぎる場合は、運営事務局までご一報ください。
- 参加申し込み・諸費用のお支払いを完了された方には、『参加登録確認書』がメールにて送信されます。大会当日は『参加登録確認書』を必ずご持参ください。ご提示をお願いする場合がございます。

研究発表・自主シンポジウム企画の申し込み

【発表形式】

- 研究発表(口頭発表): オンデマンド+大会期間中の質疑応答
- 自主シンポジウム: 以下の2種類からいずれか1つを事前選択
 - ・オンデマンドのみ
 - ・オンデマンド+ライブ配信

【発表資格】

- 研究発表者の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者は、**論文投稿締切日5月31日(月)の時点で**、日本特殊教育学会の正会員であり、学会年会費を納入済みであること。会費未納の場合は、学会の除名対象となる可能性、発表資格を失う可能性が生じます。
- 連名発表者、話題提供者と指定討論者は会員に限定しませんが、**大会参加の事前申し込みおよび諸費用の納入**が必要となります。
- 現在は非会員で、これから入会をして発表申し込みをされる方は、4月17日(土)開催の理事会で入会承認を受ける必要があります。**必ず4月9日(金)午前中までに入会手続きを済ませてください。**入会手続きは、学会ホームページにてご確認ください。申し込みには入会承認後に発行される『会員ID(数字8桁)』が必要となります。

【発表条件】

- 研究発表は**1人1題**に限ります。ただし、連名発表者(共同発表者)については、この限りではありません。
- 自主シンポジウムの企画は**1人1企画**に限ります。複数の企画はできません。
- 同一グループによる連続発表は、**3題**までとします。
- 研究発表の筆頭発表者、自主シンポジウムの司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。**(学会企画および準備委員会企画シンポジウムご登壇、自主シンポジウムの企画のみでご登壇されない場合、筆頭以外の口頭発表については、この限りではありません。)
- 連名発表者(共同発表者)は、大会不参加(名前のみ記載)の場合であっても大会参加費の事前支払いが必要となります。**2021年5月31日(月)18:00 までに大会参加申し込みの上、5月31日(月)までに大会参加費の振込を完了**してください。連名取り消しの場合であっても大会参加費は返却いたしませんのでご注意ください。

【事前資料の提出】

- 第59回大会では、障害のある発表者及び参加者におけるアクセシビリティならびに障害の有無にかかわらずアクセスしやすい企画とするため、上記締切に提出する発表原稿に加え、事前提出動画の登録受付期間の間(大会側に字幕付与依頼をする発表については7月末を予定、発表者側で字幕付与する発表については8月上旬までを予定)に事前の動画・発表資料の提出が必要です。事前の動画・発表資料の提出がない自主シンポジウム・研究発表では発表を認めない場合があります。
- 動画の作成や動画への字幕付与については、大会ホームページにて方法を紹介する予定です。

【その他】

- 大会開催後の自主シンポジウム企画者への開催報告の原稿依頼は、現在は行っていません。

① 申し込み方法

【手順1】 参加申し込み…大会ホームページの<参加申込>ページより参加申し込みを行ってください。

【手順2】 論文原稿の投稿…参加申し込みを完了されると、『参加受付番号(数字4桁)』が付与されますので、その番号と登録いただいたパスワードで、大会ホームページの<論文投稿>ページから投稿画面にログインして原稿をアップロードしてください。

※この論文原稿の投稿は、自主シンポジウムは企画者が、研究発表は筆頭発表者が行ってください。

連名発表者の方は論文の投稿は必要ありませんが、事前参加申し込みの手続きは必要です。

【手順3】 費用の納入… 期日までに大会参加費および諸費用をお支払いください。

② 発表申し込み、原稿投稿の締切

2021年5月31日(月)18:00(時間厳守のこと。これ以降の申し込みは一切受け付けません。)

- 申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。自主シンポジウム企画費および研究発表費は返却いたしませんのでご注意ください。
- 研究発表と自主シンポジウムにおいて、発表者側で字幕付与をすると申し出たにもかかわらず、字幕のない動画が提出された場合には、発表を認めない場合がありますのでご注意ください。
- 自身で字幕付与を行うとした企画において字幕のない動画が提出されたことよって開催をお断りした場合には、自主シンポジウム企画費は返却いたしませんのでご注意ください。
- 申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。研究発表費は返却いたしませんのでご注意ください。

大会プログラムならびに発表論文集について

- ① 大会プログラムは、大会ホームページに掲載します。冊子体を希望される方には、1冊1,500円にて郵送で配布いたします(参加登録時に郵送希望の有無を確認させていただきます)。
- ② 発表論文集は、大会ホームページより閲覧システムにて、参加者のみ閲覧可能な形で掲載いたします(2021年11月末まで掲載予定)。
- ③ 発表論文集(CD-ROM)は、事前に郵送にて送付します。単体にて2,000円で販売を予定しておりますが、数に限りがございます。単体購入の場合、入手できない可能性もございますので予めご了承ください。

大会参加費および諸費用

大会参加費および諸費用

研究発表筆頭発表者および自主シンポジウム企画者は、大会参加費の他に費用が必要となります。いずれも必ず5月31日(月)までの「事前」にてお支払いください。

「後期」の参加費区分は、上記「事前」締切のあと、7月1日より参加申込を再開して以後の区分となる予定です。

大会参加費	正会員	会員	事前 9,000円 後期 10,000円	全日程参加可能。 ※発表論文集(CD-ROM)が郵送されます。
	大学院生 (専攻科)	会員 非会員	事前 5,000円 後期 6,000円	全日程参加可能。 ※発表論文集(CD-ROM)が郵送されます。
	臨時会員	非会員	事前 10,000円 後期 11,000円	全日程参加可能。 ※発表論文集(CD-ROM)が郵送されます。
	学部生		*1事前・後期 1,000円	全日程参加可能。 ※発表論文集(CD-ROM)はつきません。 ※発表関与者は該当しません。
研究発表費			3,000円 *2(字幕付与依頼は 5,000円)	大会参加費とは別に必要となります。 <u>研究発表の筆頭者は必ず事前納付してください。</u>
自主シンポジウム企画費			15,000円 *2(字幕付与依頼は 20,000円)	大会参加費とは別に必要となります。 <u>企画者は必ず事前納付してください。</u>
プログラム(冊子体)			1,500円	希望者のみ(参加登録時に郵送希望の有無を確認させていただきます)
発表論文集(CD-ROM) 単体販売			2,000円	数に限りがございますのでご注意ください。

*1 学部生・専攻科学生・大学院生(現職教員等の社会人学生を含む。科目等履修生は除く。)で、学生証の提示(申込の際にデータをアップロードいただきます)があった方は、大学院生(専攻科)として、一般参加費より割安になります。受付の際に学生証の提示がない場合は割引の対象となりませんので、ご注意ください。

*2 研究発表費と自主シンポジウム企画費において、研究発表者あるいは自主シンポジウム企画者側で事前に提出する動画への字幕付与を大会準備委員会に依頼する場合としない場合では費用が異なりますので、ご注意ください。なお、発表者側で字幕付与をすると申し出たにもかかわらず、字幕のない動画が提出された場合には、発表を認めない場合がありますので、併せてご注意ください。

支払方法と納入期日

- お支払いは「銀行振込」または「クレジット決済」のいずれかを選択してください。
- 納入された諸費用の変更・返金は一切できません。
- クレジット決済はWEB上での決済となります。参加申し込み時にお支払いまでお進みください。
- 銀行振込の方は、以下の口座にお振込ください。振込手数料は各自でご負担願います。

※ゆうちょ銀行からのお振込の場合

ゆうちょ銀行 (記号)00250-3-(番号)109252
 口座名義: 日本特殊教育学会大会準備委員会
 (二ホントクシキョウイクガ ッカタイカイジ ユンビ インカイ)

※他の金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行 ○二九店(当座) 0109252

納入期日…**2021年5月31日(月)**

事前申し込み者は、必ず前納してください。参加費の領収をもって、受付完了となりますので、期日までにご入金を確認できない場合は、申し込みは取消となりますのでご注意ください。研究発表および自主シンポジウム企画者は必ず事前申し込みください。諸事情により期日を過ぎる場合は、運営事務局までご一報ください。

その他

アクセシビリティ・サービス

大会期間中、会員の様々なニーズに応えるため、障害のある方を対象にアクセシビリティ・サービスを提供いたします。詳細につきましては大会ホームページ(アドレス)をご覧ください。

アクセシビリティ・サービスをご利用いただくにあたっては、サービス担当者の手配や配置などの準備や調整が必要となりますので、期限(2021年5月31日(月)18:00)までに、事前のお申し込みをお願いいたします。

なお、原則として、障害のあるご本人以外のお申し込みはお受けできません。

また、アクセシビリティ・サービスの提供につきましては、基本的に以下の2点の場合となります。

1. 障害のある方が自身が発表する研究発表およびシンポジウム
2. 障害のある方が参加を希望する研究発表およびシンポジウム

事前にお申し込みいただいた方には、大会プログラム公開(8月中旬予定)後に、参加を希望する研究発表、シンポジウム等について確認させていただきます。なお、本大会はオンライン上での開催となるため、各参加者のサービスの希望が異なるプログラムに分散するなど、サービス希望の状況によって、サービスを提供するプログラムの限定あるいは調整をさせていただく場合もあります。必ずしもご要望にお応えできない場合がありますことをご承知おきください。

交流ラウンジ(オンライン)の設置

オンラインで実施する場合には対面と異なり、交流や雑談が難しい場合があります。そのため、**大会期間中、バーチャル会議システムを利用して、参加者同士が自由に交流・雑談できる「交流ラウンジ」を常時開放**する予定です。交流ラウンジに参加している人同士が自由に話し合ったり、偶発的な交流をすることができる場を設けられればと考えております。交流ラウンジで使用するシステムの詳細や参加方法などは、今後大会ホームページに掲載しますのでご確認ください。

オンライン参加・発表のための接続テスト

本大会ではオンデマンド動画・資料等を配信する大会 WEB 開催システム、Zoom ウェビナーによる自主シンポジウム、Zoom ミーティングによる研究発表、バーチャル会議システムによる交流ラウンジの開放などオンラインで参加するためのツールを使用します。オンラインツールに不慣れな参加者や発表者がスムーズに本大会に参加できるように、大会開催前にオンライン参加・発表のための接続テストを実施する予定です。接続テストの詳細については、今後大会参加者向けにお知らせします。接続にご不安のある方は、ご活用ください。

原稿投稿要項

研究発表および自主シンポジウム(共通)

1. 発表論文集原稿を作成・投稿するにあたっての注意

- 発表論文集は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味した原稿を期待します。
- 内容については、他学会等で公表していないオリジナルなものとしてください。
- 発表内容については、日本特殊教育学会の倫理綱領(<https://www.jase.jp/about/ethics.html>)並びに倫理規定(https://www.jase.jp/about/pdf/rinri_rule.pdf)を遵守していることが必要です。

なお、**提出原稿につきましては、倫理綱領並びに倫理規定を遵守しているかどうかを学会の研究倫理委員会**
でチェックした上で、発表の可否を判断いたします。特に下記のような倫理上の配慮や手続きが必要な研究については、発表論文集原稿の任意の箇所に、これらの配慮や手続きを行った旨を簡潔に記載してください。

- ・相手方の同意・協力を必要とする研究
- ・個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究
- ・生命倫理・安全対策に対する取組みを必要とする研究
- ・法令等に基づく手続き等を必要とする研究

また、事例等を発表する場合、本人・保護者・事例所属機関等への了解及び個人が特定されることのないよう**個人情報の取扱いに十分な配慮をお願いいたします。**例として、発表論文集原稿では対象者・対象機関等は仮名称(A児、B学校等)を用いる、支援や調査の期間を匿名化する(201x-1年~201x年等)等の配慮を行ってください。提出される資料には必ず「本人あるいは保護者、所属機関等の許可を得て掲載している」旨を明記し、発表時にも許可を得ている旨を口頭でご報告ください。

- 原則として、研究の目的、方法、結果、考察、結論の各項に分けて記述してください。
- 原稿の投稿は、大会ホームページからの**投稿画面からのアップロードのみ**で受付を行います。
- 投稿前に大会参加申し込み画面より研究発表あるいは自主シンポジウム企画の申し込みを行ってください。
- 規定外の原稿で提出された場合および期日に遅れたものについては受付られません。
- 研究発表において、筆頭発表者は正会員に限られます(連名発表者は非会員でもかまいません)。
- 自主シンポジウムにおいては、企画者および司会者が正会員であることを確認してください。
- **2021年5月31日(月) 18:00 (時間厳守)までに投稿(アップロード)を完了してください。**申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。
- これ以外の規定は、学会ホームページにある「(一社)日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定」を参照ください。

2. 発表論文集原稿作成要領

- 投稿用テンプレート(Word用)を大会ホームページからダウンロードすることができます。
- 原稿は、A4サイズ 1 頁です(上下20mm, 左右16mmの余白を設けてください)。
- 原稿の作成はワープロソフト(Word)を使用して作成してください。投稿時にレイアウトがくずれる可能性もありますので、PDFファイルに変換をおすすめしますが、保護はしないでください。
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2~30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入の方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

3. 発表原稿投稿(アップロード)方法

- 投稿に際しては、**筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者・話題提供者の学会の会員ID(数字8桁)**を用意してください。会員番号が不明な場合は必ず本人にご確認ください。会員でない方は、記入する必要はありません。
- 申し込みの際には、下の表の区分に従って、希望する種別(研究発表のみ)・領域・部門をそれぞれ1つずつ選び、適当なキーワードを **3 語以内**でご記入ください。領域・部門については各企画を配置する際の参考とします。
- 本大会では、研究発表の種別を発表申し込み時にお選びいただくこととしました。発表種別において「**学術研究**」を選択した研究発表については部門を横断した配置を行います。かつ、筆頭発表者が、選考対象となる研究発表に対してはライブ配信時のプレゼンテーションを別途、求める場合があります。

- 研究発表で一連発表を希望する場合は、投稿の際に一連発表者の参加受付番号(数字4桁)と発表の順番を入力してください。
- 各企画を配置する際の参考として、自主シンポジウムでは、参加者の見込を入力してください(例:100名未満, 101名~500名未満, 501名以上)。なお、現時点での予定ですので、希望に沿えない場合がありますことをご了承ください。
- 投稿完了後、登録メールアドレスに演題登録確認メールをお送りいたします。届かない場合には操作方法に誤りがある場合がございますので、再ログインして内容確認をするか、受付係までお問合せください。
- **2021年5月31日(月)18:00(時間厳守)までに投稿画面からのアップロードを完了してください。**
受付期間内は投稿内容の上書きが可能です。

研究発表希望区分(※自主シンポジウムについても選択が必要です)

種別 ※研究発表のみ	(1)学術研究 (2)実践報告 (3)調査報告 (4)その他
領域	A-1.教育(初等教育) A-2.教育(中等教育) A-3.教育(高等教育) A-4.教育(その他) B.生理 C.心理 D.医療・保健 E.福祉 F.キャリア G.その他
部門	1.視覚障害 2.聴覚障害 3.知的障害 4.肢体不自由 5.病弱虚弱 6.言語障害 7.行動・情緒障害 8.発達障害(ASD) 9.発達障害(ADHD) 10.発達障害(SLD) 11.重度・重複障害 12.矯正教育 13.障害全般 14.ダイバーシティ 15.その他
キーワード (例)	教育原理 歴史 人権擁護 福祉制度 教育計画 乳幼児期 地域社会 知的発達 生涯発達 神経科学 認知発達 言語獲得 支援技術 就労支援 運動・動作 人間関係 指導方法 ソーシャルサポート 教育評価 教育課程 授業分析 交流および共同学習 作業学習 教科学習 不登校

発表種別について

- 学術研究:明確な問題提起と実験・調査・事例等の研究方法に基づく客観的な結果、理論的考察と明確な結論を備えた研究発表
- 実践報告:教育、福祉、医療などの実践を通して、実践的な問題の究明や解決を目的とする発表であり、学術研究ではないもの
- 調査報告:教育、福祉、医療などの調査を通して、問題の究明を目的とする発表であり、学術研究ではないもの
- その他:上記のいずれにも該当しないもの

研究発表

1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目(主題)」「題目(副題)」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体、センタリングしてください。
- 「題目(主題)」は第 1 行と第 2 行に、18 ポイントで書いてください。
- 「題目(副題)」は第 3 行に 9 ポイントで書いてください。副題がない場合は第 3 行を空けてください。
- 「氏名」は第 4 行に記入し、連名の場合は筆頭発表者の氏名の前に ○ 印をつけてください。
- 「所属」は、第 5 行に氏名の下にカッコでくくって書いてください。連名の場合、発表者の所属が同一であれば、一つだけ記入してください。所属が大学の場合には、学部あるいは研究所名まで記入し、大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。
- **連名発表者(共同発表者)は、事前に大会参加費を納めなければいけません。**
- 「キーワード」は、第 6 行目に **3 語以内**で記入してください。
- 第 7 行目は、空けてください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは 9 ポイントで書いてください。文字は、「3. 研究発表原稿レイアウト」に示す範囲に入れ、本文の字数は 27 字×52 行×2 段組としてください。本文の総字数は2,808 字となります。題目の字数、副題などの関係から上記の行数や字のポイント数に若干変更があっても、第 8 行目から書き始めてください。

- 原稿の最終1～2行目には、発表者全員の氏名をローマ字(例:TSUKUBA Taro)で記入してください。
- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。**投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法は、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

2. 研究発表の形式

- 15～20枚のPowerPointスライドあるいはPDFファイルに3～10分程度の説明の音声ないし動画(mp4形式のファイル)をご用意いただきます。
- PowerPointスライドのファイルには動画やアニメーションは埋め込まないでください。ファイルサイズは最大50MBまでで作成してください。
- 音声ないし動画(mp4形式のファイル)は次の①～③いずれかの方法で作成、ご登録ください。ファイル形式はmp4のみ受け付けます。
 - ①発表場面の撮影
 - ②音声 or 動画付きスライドショー(PowerPoint・Keynote等)動画
 - ③遠隔会議システム(Zoom等)による記録録画
- 1発表につき1つの動画と1つのPowerPointスライドあるいはPDFファイルのみ、受け付けます。
- 動画のファイルサイズは最大2GBまでで作成してください。
- 発表は**1人1題**に限ります。ただし、連名発表者(共同発表者)となることはこの限りではありません。
- 発表用動画等の作成ならびに口頭説明・質疑・ディスカッションにあたっては、障害のある方の情報アクセシビリティへの配慮をお願い致します。配慮事項や配慮方法の詳細につきましては、大会ホームページ上の「アクセシビリティ・ガイドライン」をご覧ください。

第59回大会フューチャーリサーチアワードの選考について

第59回大会では、将来の学会発展を担う学生の研究奨励を目的として、大学院生が筆頭発表者となる学術研究発表で優秀な発表を顕彰する「日本特殊教育学会第59回大会フューチャーリサーチアワード」を実施します。

審査にあたり、すべての大会参加者が選考対象発表にコメントをすることができるようになります。参加者からのコメントを選考委員が確認し、優秀発表を数件、選考します。参加者からのコメントは発表者自身にも確認できるようにする予定です。大会での受賞経験から更なる研究発展を期待する取組ですので、ぜひ発表者または参加者として積極的に参画していただければ幸いです。

【選考対象】

- 発表種別が「学術研究」である研究発表
- 筆頭発表者が大学院生であること

【選考手順】

すべての大会参加者は、選考対象の研究発表にコメントをすることができます。参加者からのコメントの内容としては発表内容の意義や感想、具体的な改善点の提案などが期待されます。良識に基づき、誹謗中傷はお控えいただくとともに、選考対象発表における今後の研究発展に向けた建設的なフィードバックを歓迎します。

大会参加者からのコメントを集計した上で、大会が選定した選考委員がコメントや発表資料を参考とした上で評価を行い、評価の高い数件を「日本特殊教育学会第59回大会フューチャーリサーチアワード」の受賞者とします。なお、発表の部門(障害種等)に偏りがないように考慮して選定します。また、連名発表者である者、または筆頭発表者と所属機関が同じ者は当該研究発表の選考委員にはなりません。

【審査の観点】

- 審査では、下記の4つの観点に基づき評価を行います。
 - (1) 研究の独創性と発展性
 - (2) 研究の具体性と再現性
 - (3) 研究成果の社会的寄与
 - (4) 研究発表の技術(プレゼンテーション等)

【受賞者への対応】

- 審査終了後、大会から受賞者に連絡をします。受賞者の承諾の上で、学会ならびに大会ウェブサイトにも氏名・発表内容・講評を掲載する予定です。

自主シンポジウム

1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体とし、センタリングしてください。
- 「題目」は、原則として、18ポイントで書いてください。
- 「氏名」と「所属」は、原則として、9ポイントとします。
- 「キーワード」は、3語以内で記入してください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは9ポイントで書いてください。企画趣旨、各話題の要旨、指定討論の要旨などの項に分けて記述してください。文字は、「3. 自主シンポジウム原稿レイアウト」に示す枠内に入れてください。
- 原稿の最終1～3行目には、企画者、司会者、話題提供者、指定討論者全員の氏名をローマ字(例: TSUKUBA Taro)で記入してください。
- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。 **投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

2. 自主シンポジウム開催に関する注意事項

- 企画者および司会者は正会員に限ります。話題提供者および指定討論者は、非会員であっても差し支えありません。***ただし、研究発表の筆頭発表者、自主シンポジウムの司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。**(学会企画および準備委員会企画シンポジウムご登壇、自主シンポジウムの企画のみでご登壇されない場合、筆頭以外の研究発表については、この限りではありません。)
- 自主シンポジウム企画者は、**大会参加費に加えて、自主シンポジウム企画費の払込が必要です。**また、**企画者以外の正会員も事前の大会参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。**どちらの場合も、**2021年5月31日(月)までに必ず払込を完了してください。**
- **自主シンポジウムに関与する非会員の方は、事前参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。2021年5月31日(月)までに必ず払込を完了してください。**

3. 自主シンポジウムの発表形式

- 自主シンポジウムの形式は、登録時に以下のいずれかから選択ください。
 - ① オンデマンドのみ…オンデマンド(動画ファイル作成)
 - ② オンデマンド+ライブ配信…オンデマンド(動画ファイル作成)+大会期間中のリアルタイムライブ配信
- ①、②とも、動画ファイルの作成は、次の(1)～(3)のいずれかの方法でおこない、ご登録ください。ファイル形式はmp4のみ受け付けます。
 - (1) 発表場面の撮影
 - (2) 音声or動画付きスライドショー(PowerPoint・Keynote等)動画
 - (3) 遠隔会議システム(Zoom等)による記録録画
- 1シンポジウムで1つの動画と1つのPowerPointスライドあるいはPDFファイルのみ、受け付けます。話題提供者や指定討論者等の動画と資料を企画者で取りまとめて下さい。
- 自主シンポジウム形式の①、②いずれについても、動画の時間は最短30分以上、60分程度を目安に、ファイルサイズは最大2GBまでで作成してください。
- 発表用動画等の作成ならびに口頭説明・質疑・ディスカッションにあたっては、障害のある方の情報アクセシビリティへの配慮をお願い致します。配慮事項や配慮方法の詳細につきましては、大会ホームページ上の「アクセシビリティ・ガイドライン」をご覧ください。